

○課題改善カリキュラム 外国語・英語科

【育てたい力】 間違いを恐れずに積極的に英語を話そうとする姿勢

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	間違いを恐れずに積極的に英語を口にすることができる。また英語を話すために必要な語彙力や思考力・判断力・表現力を身に付け、場面に応じて活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が英語を間違えた時に、直接指摘するのではなく、教師が言い直すことで、安心して英語を話せる環境をつくる。</li> <li>ALTを活用し、英語でのやり取りを繰り返し行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帯活動（英語の歌、Small Talk、単語の発音、Q&amp;A）を全学年で取り入れる。</li> <li>授業の中でペアワークやインタビュー活動等、生徒同士で考え対話をする活動を行う。</li> </ul>	<b>Daily Scene</b> （道案内、依頼、電話の会話等、日常的な場面で使う英語）
小学校5・6年生	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりすることができる基礎的な力を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を繰り返し指導し定着を図る。</li> <li>実践的なデモンストレーションを用いて、ロールプレイ活動を順序立てて進める。</li> <li>Small Talkを意図的・計画的に取り入れることで、語彙や表現に慣れ親しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚教材や音声教材を活用する。</li> <li>実践的な場面を設定する。</li> <li>慣れ親しんだ表現を用いてALTとのやりとりを実践の場とする。</li> <li>ペアワークやグループワークなどの学習形態を工夫する。</li> <li>フィンガードリルなどを使って、視覚的に分かりやすい指導を行う。</li> </ul>	5年 <b>I want to go to Italy.</b> （行ってみたい国や地域） 6年 <b>What do you want to watch?</b> （オリンピック・パラリンピック） <b>What do you want to be?</b> （将来の夢・職業）
小学校3・4年生	英語の音声やリズムなどに慣れ親しみ、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成感や成就感をもたせて英語に慣れ親しませるために、英語を初めて学習することに配慮し、簡単な語句や基本的な表現を用いながら体験的な言語活動を行う。</li> <li>インプットを重視し、繰り返し語彙や表現に触れさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なコミュニケーションの場面を設定する。</li> <li>視覚教材や音声教材を活用する。</li> <li>ペアワークを行い、英語で伝え合う場を設定する。</li> <li>Small Talkやゲームなどで繰り返し聞いたり話したりする。</li> </ul>	3年 <b>How are you?</b> （自分や相手の状態） 4年 <b>What do you want?</b> （欲しいものは何か）
小学校1・2年生				